

'82年度 オニ期テーマ 仲間意識

9月のテーマは 歴史にみる 釜ヶ崎人情

夜間学校です

釜ヶ崎夜間学校
西成区萩の茶屋2-8-18
喜望の家 寄付
電話 六四七-三九四六
不眠日夜七時-九時

人情を結集し

今夜7時から 生徒若者を豊かに できるか

日雇の仕事は、今大変厳しい。トヤも個室にならないうえ、関係つまりつきあひも表面的になつてしつたという苦境を良く乗り越えます。しかし過去三回、釜ヶ崎における人情について夜間学校で話し合つて来たところに、よりますと、どっこい釜

釜ヶ崎人情は生きこむ。しかも中差階級意識で自分の樂しみ自分の家庭のことはかりに夢中になつていく連中。中へ比へても、釜での生活を通して釜の労働者の人情は、いろいろな差別や偏見や権力に打ち勝つ力を持つていけるのではないのでしょうか。この釜ヶ崎独自の

人情をどうと結集して、今仕事が少ないなかでも、生きていく力を豊かにできるかと思ひます。

解体されつつある釜と言われ、ることがあります。白手帖のアブレ年当ができて釜での生活が変つたことが上げられます。個人的な思いやりだけでは、どうにもならぬくらい社会全体の状況は厳しく、生活は苦しくなつています。今はあかん。昔は良かった。

就労申告書廃止 絶対反対
一方的な就労申告書の廃止は、わたしたち労働者に不利を押しつけるのです。今こそ抗議の声と行動を!

鮎は頼につく
鳥は木にとまる
人は情けの下に住む
山家鳥虫歌
（江戸前期の諸国盆踊り歌謡）

は、古くから釜にいてる人が言うことなんです。そこには**伝説**と**理想**の思いがこめられていゝのではないのでしょうか。七月から**仲間意識**をテーマに話してきました。我々の団結を勝ちとるために、ひとりでも多くの仲間の**参加**をみんなをてつくる。



